

令和3年度事業報告書

社会福祉法人田子町社会福祉協議会

令和3年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

今年度も新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない状況が続くことで、従来の社協活動や地域住民による地域活動が引き続き制限されることとなりました。

一方で、コロナ禍が要因で一層顕在化してきた社会的孤立や経済的困窮と言った生活課題・福祉課題に対し、長らく地域福祉活動を実践してきた社会福祉協議会への期待も高く、ニューノーマル時代を見据えた対応も求められるようになってきています。

本会ではこのような状況に対し、昨年度に引き続きつながりを途切れさせないよう、絵はがき配布事業の実施や職員常駐のサロンを開催したほか、新たな取り組みとしてコロナ禍にも対応した見守りパンフレットの作成を行い、住民の意識啓発を図りました。

また、感染症対策が当然の業務となった介護保険事業を始めとする福祉サービスにおいても、感染者を出さないことを第一にしながら、利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1) 理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、正副会長会議、運営改善会議を開いて介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 4回>

○第1回理事会

日時	令和3年6月3日(木) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第1号 会長の職務執行状況について 議案第1号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第2号 令和2年度事業報告書の承認について 議案第3号 令和2年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第4号 評議員選任・解任委員の欠員補充について 議案第5号 評議員選任・解任委員会の開催について 議案第6号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第7号 理事及び監事の選任の提案について 議案第8号 評議員候補者の推薦について 議案第9号 定時評議員会の開催について

○第 2 回理事会

日 時	令和 3 年 6 月 18 日(金) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第 10 号 会長の選定について 議案第 11 号 副会長の選定について 議案第 12 号 顧問の委嘱について 議案第 13 号 苦情解決責任者の選任について 議案第 14 号 第三者委員の任命について 議案第 15 号 社会福祉推進委員の委嘱について

○第 3 回理事会

日 時	令和 3 年 12 月 3 日(金) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第 2 号 会長の職務執行状況について (監査報告) 議案第 16 号 令和 3 年度一般会計補正予算(第 2 号)について 議案第 17 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正につ いて 議案第 18 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正 について 議案第 19 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正につ いて 議案第 20 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員給与規程の一部改正 について 議案第 21 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会パワーハラスメント、セクシュア ルハラスメント及び妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止 に関する規程の制定について 議案第 22 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会私有車業務使用規程の制定に ついて 議案第 23 号 評議員会の開催について

○第 4 回理事会

日 時	令和 4 年 3 月 7 日(月) 午後 2 時
場 所	タプコピアンプラザ 会議室
案 件	報告第 3 号 会長の職務執行状況について 議案第 24 号 令和 3 年度一般会計補正予算(第 3 号)について 議案第 25 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正につ いて 議案第 26 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員給与規程の一部改正 について 議案第 27 号 田子町老人デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議案第 28 号 令和 4 年度事業計画について 議案第 29 号 令和 4 年度一般会計予算について 議案第 30 号 評議員会の開催について

<評議員会の開催 3 回>

○定時評議員会

日 時	令和 3 年 6 月 18 日(金)午前 11 時
場 所	せせらぎの郷会議室
案 件	議案第 1 号 令和 3 年度一般会計補正予算(第 1 号)について (監査報告) 議案第 2 号 令和 2 年度事業報告書の承認について 議案第 3 号 令和 2 年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第 4 号 理事及び監事の選任について

○第 2 回評議員会

日 時	令和 3 年 12 月 13 日(月) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	(監査報告) 議案第 5 号 令和 3 年度一般会計補正予算(第 2 号)について

○第 3 回評議員会

日 時	令和 4 年 3 月 15 日(火) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第 6 号 令和 3 年度一般会計補正予算(第 3 号)について 議案第 7 号 令和 4 年度事業計画について 議案第 8 号 令和 4 年度一般会計予算について

<監査会の開催 2 回>

○第 1 回監査会

日 時	令和 3 年 5 月 17 日(月) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 和室
内 容	令和 2 年度法人運営並びに事業実施状況について 令和 2 年度会計処理状況について

○第 2 回監査会

日 時	令和 3 年 11 月 17 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 和室
内 容	令和 3 年度上半期(4 月～9 月)会計処理状況について

<評議員選任・解任委員会 1 回>

日 時	令和 3 年 6 月 14 日(月) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	評議員の選任について

<苦情処理委員会 1 回>

日 時	令和 3 年 5 月 28 日(金) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 調理室
案 件	苦情解決の流れ及び第三者委員の役割について 令和 2 年 7 月から令和 3 年 4 月までの状況報告

<社会福祉推進委員会 1回>

日 時	令和3年11月19日(金) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	委員長及び副委員長の選任について コロナ禍における社協事業の実施状況について 見守り活動啓発パンフレットの作成について ※令和4年3月末 見守り活動啓発パンフレット送付

<正副会長会議>

12回(4/30、5/31、6/30、7/30、8/31、9/30、10/27、11/30、12/27、1/31、2/28、3/30)

人事・事業運営並びに経営状況等について定期的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

<運営改善会議>

12回(4/19、5/20、6/23、7/20、8/19、9/21、10/20、11/22、12/21、1/24、2/21、3/22)

各部署より幹部職員等(事務局長、所長、館長等)が参加し、介護保険事業の経営状況並びに各部署の運営状況についての情報の共有化を図り、課題の分析・対応について協議し経営の健全化に努めました。

(2) 社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額2,596,500円(介護・障害サービス収入を除く収入の3.2%)の実績をあげることができました。

<社協会費納入内訳>

会員区分		会費年額	会員数	会費額
世帯会員	普通会員	1,000円	1,343名 (-23名)	1,342,500円 (-23,500円)
	賛助会員	2,000円	412名 (-5名)	824,000円 (-10,000円)
	小計 ①			1,755名 (-28名)
団体賛助会員②		1口 5,000円	33事業所 86口	430,000円 (±0円)
合計 ①+②				2,596,500円 (-33,500円)

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町や青森県社会福祉協議会等から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は、66,603,980円(総収入の37.6%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の83.2%となっています。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として1,310,000円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

＜共同募金配分金による事業＞

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	180,000 円	
広報物の作成	360,000 円	社協だより 2,200 部×4 回
福祉協力校活動費	200,000 円	町内 4 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
ほっとできる居場所づくり事業	285,000 円	ほのぼの・よりみちカフェの実施
災害時支援物品購入事業	210,000 円	発電機の購入
合 計	1,310,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。なお、今年度は例年以上に多額の寄付をいただいております。

- ・寄付金 12 件 1,323,340 円
- ・寄付物品 17 件 160,052 円相当(シュレッダー、石油ストーブ、座布団、ハガキ等)

(6) 職員の質の向上

田子町社会福祉協議会資格取得等貸付事業により、本会の人材確保及び職員の資質向上を図りました。

＜貸付状況＞

研修名	貸付件数	貸付金額
介護福祉士実務者研修	2 件	197,406 円
社会福祉主事資格認定通信課程	1 件	89,000 円

＜年度末貸付総件数＞

貸付件数	貸付金額
7 件	681,218 円

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、介護支援専門員の資質の向上を図りながら利用者の自立支援に努めました。

介護支援専門員については、常勤専従管理者 1 名と常勤専従 2 名の 3 名体制で始動しましたが、7 月に 1 名の増員があり以後 4 名体制で業務を行いました。

利用件数は、計画作成延件数が 1,170 件(月平均 97.5 件)あり、その内新規契約件数は前年度より 3 件減の 34 件(月平均 2.8 件)となりました。

しかし、新規の内 5 件は計画作成に至らなかったほか、特別養護老人ホーム等へ入所するケースが 2 件(前年度比-2 件)、事業所変更が 2 件(前年度対比-2 件)、他界された方が 23 件(前年度対比+5 件)ありました。

新規契約件数は減少しましたが、計画作成延件数が増加したことにより、収入は前年度より 831,760 円の増収となっています。

また、今年度は次年度からの特定事業所加算取得に向けた準備期間として、主任介護支援専門員取得や夜間・休日の携帯電話対応等の整備を行いました。

＜居宅介護支援事業実施状況＞

新規契約件数	34件 (-3件)
計画作成延件数	1,170件 (+17件)
1月当たりの計画作成件数	97.5件 (+1.4件)
住宅改修支援件数	0件 (-2件)
福祉用具購入等支援件数	10件 (+3件)

※()内は前年度対比

＜月別居宅介護計画作成件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	104	104	100	99	97	96	
	(±0)	(+6)	(-1)	(-1)	(+3)	(+2)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	101	95	94	90	94	96	1,170
	(+6)	(-2)	(+1)	(-1)	(+3)	(+1)	(+17)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	3	3	3	4	4	4	
	(-1)	(±0)	(±0)	(+1)	(+1)	(+1)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	4	4	4	4	4	45
	(+1)	(+1)	(+1)	(+1)	(+1)	(+1)	(+8)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員1名当たりの担当件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	34.7	34.7	33.3	24.5	24.2	24.0
	(+8.7)	(+2.0)	(-0.4)	(-8.8)	(-7.1)	(-7.3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	25.3	23.4	23.5	22.5	23.5	24.0
	(-6.4)	(-8.9)	(-7.5)	(-7.8)	(-6.8)	(-7.7)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

前年度は依頼があっても職員の人員不足により対応しきれないこともありましたが、5月からパート職員を増員したことで、サービス提供の安定化を図り、介護支援専門員を中心とする関係機関等と連携しながら、利用者ができる限り在宅での生活を安心して1日でも長く継続できるようにサービスの提供に努めました。

今年度は収入増加への対応として、研修体制等の整備により7月から新たに特定事業所加算Ⅱを取得したほか、自宅にて生活される利用者の身体介護の訪問回数も大幅に増えたことで、今年度は4,004,050円の増収となり、前年度マイナスだった収支差額もプラスとなっています。

一方、障害者居宅は、利用者の体調の変化等が多いことで訪問回数が減ってしまい、大幅な増収には至りませんでした。

また、今年度は資格取得等貸付事業により1名の職員が介護福祉士に合格しています。

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1名	0名	0名	1名	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
訪問介護員	1名	1名	1名	3名	介護福祉士 1名 ヘルパー2級 2名
合計	2名	1名	1名	4名	

※R4.3.31 現在

＜訪問介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計
利用登録者	39名 (±0名)	7名 (+1名)	7名 (±0名)	53名 (+1名)
実利用者数	38名 (-1名)	7名 (+1名)	7名 (±0名)	52名 (±0名)
新規・再開利用者数	18名 (+2名)	2名 (-1名)	0名 (-2名)	20名 (-1名)
延訪問回数	3,026回 (+524回)	296回 (+83回)	334回 (+3回)	3,656回 (+610回)
サービス別訪問回数	身体介護	2,085回 (+398回)		2,085回 (+398回)
	身体生活援助	941回 (+126回)		941回 (+126回)
	生活援助	0回 (±0回)	296回 (+83回)	334回 (+3回)
延活動時間数	2,112.3時間 (+279.4時間)	270.7時間 (+80.2時間)	322.5時間 (-4.3時間)	2,705.5時間 (+355.3時間)

※()内は前年度対比

＜訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	27	23	24	24	25	25	24	24	26	25	25	28	38
	5	5	5	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7
延訪問回数	238	227	225	274	242	277	261	246	244	260	154	378	3,026
	22	20	21	26	24	25	26	24	27	26	24	31	296
身体介護	164	160	157	204	175	206	185	166	145	171	71	281	2,085
	74	67	68	70	67	71	76	80	99	89	83	97	941
生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22	20	21	26	24	25	26	24	27	26	24	31	296
延活動時間	175.8	164.4	157.1	186.8	172.3	184.8	183.3	178.8	155.8	171.8	157.1	224.3	2,112.3
	19.8	18.0	18.8	23.5	21.7	22.5	23.5	21.7	24.3	23.5	25.3	28.0	270.7

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

＜居宅介護サービス月別実施状況(障害)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	7	7	6	5	5	6	6	6	5	5	6	6	7
訪問回数 (身体障害者)	9	5	4	5	4	5	4	4	5	4	4	5	58
訪問回数 (精神障害者)	24	21	30	20	26	24	20	24	21	21	21	24	276

＜訪問介護事業月別キャンセル状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	12	4	7	6	4	4	6	9	3	6	13	7	81
居宅介護(障害)	8	3	2	4	1	4	9	1	1	1	3	2	39
計	20	7	9	10	5	8	15	10	4	7	16	9	120

単位:回

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

利用者の心身機能の維持向上と社会参加を促進し、日常生活が活性化されるよう利用者個々の状態と家族の介護負担の軽減に配慮しながらサービスの提供に努めました。

全国的な新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、家庭での体調管理の徹底、介護スタッフや利用者のマスク、手指消毒の徹底、飛散防止パネルの設置や定期的な換気など、感染予防対策が通常業務として行われるようになりました。

今年度はコロナ禍であっても、陽性者は一人も出ず、職員・利用者ともに無事過ごすことができました。しかし、夏頃から利用者の体調不良による入院などもあり、利用者の重度化が進行することで、在宅での生活が困難となり、利用件数が減少してきた結果、介護報酬は前年度対比で1,279,270円の減収となりました。

障害者自立支援(障害者通所介護)では、昨年度から引き続き2名の利用者が利用されましたが、キャンセルなどもあり、33,030円の減収となりました。

全体的にみると年間実利用者は4名の増加となり、延利用回数は前年度より375回減となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より3%減の53.1%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より1.3名減の21.2名となりました。

また、今年度は職員の資質向上を目指し、資格取得等貸付事業を活用して3名の職員が介護福祉士に挑戦し、全員が合格しています。

＜通所介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	87名 (±0名)	10名 (+4名)	2名 (±0名)	99名 (+4名)
延利用件数	6,191回 (-383回)	293回 (+11回)	145回 (-3回)	6,629回 (-375回)
1日当たりの平均利用者数	19.8名 (-1.3名)	0.9名 (±0名)	0.5名 (±0名)	21.2名 (-1.3名)
稼働日数				312日 (±0日)
年間稼働率				53.1% (-3.0%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	72	73	69	69	64	59	63	60	60	60	64	63	97
延利用件数	599	594	578	593	552	499	541	513	510	489	479	537	6,484
延食事提供数	597	588	571	586	546	493	533	507	498	478	475	528	6,400
稼働日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	25	24	27	312
平均利用者数/日	23.0	22.8	22.2	22.0	21.2	19.2	20.8	19.7	18.9	19.6	20.0	19.9	20.8
稼働率(%)	57.6	57.1	55.6	54.9	53.1	48.0	52.0	49.3	47.2	48.9	49.9	49.7	52.0

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

＜通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	12	10	10	12	11	12	14	13	14	12	12	13	145
延食事提供数	12	10	10	12	11	12	14	13	14	12	12	13	145
延入浴介助件数	12	10	10	12	11	12	14	13	14	12	12	13	145

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	24	20	20	24	22	24	28	26	28	24	24	26	290
稼働日数	12	10	10	12	11	12	14	13	14	12	12	13	145

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1名	0名	0名	1名	社会福祉主事 介護職員実務者研修 相談員兼務
生活相談員	1名	2名	0名	3名	介護福祉士2名 社会福祉主事1名 介護職員兼務
看護職員	3名	0名	1名	4名	機能訓練指導員兼務 看護師3名 准看護師1名
介護職員	0名	5名	2名	7名	介護福祉士3名 介護職員実務者研修2名 初任者研修1名 ヘルパー2級1名
調理員	0名	1名	4名	5名	調理師3名 配食サービス兼務
計	5名	8名	7名	20名	

※R4.3.31 現在

(2) 在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

登録者や延利用件数は増加しましたが、入所のために1度のみ利用される方や短距離での利用が多くみられ、昨年よりも利用件数が100件以上伸びたのにも関わらず利用料収入は前年度比で約9万円の減額となっています。

<福祉有償運送事業実施状況>

登録者数	123名 (+27名)
実利用者数	85名 (+17名)
稼働日数	214日 (+13日)
延利用件数	824件 (+101件)

※()内は前年度対比

<福祉有償運送事業月別実施状況>

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	18	18	18	19	17	17	17	20	19	15	17	19	214
実利用者数	23	31	36	29	25	23	23	26	32	27	27	30	85
延利用件数	67	91	74	66	63	52	51	68	82	62	67	81	824
町内	33	69	52	34	40	29	33	39	58	45	44	48	524
三戸・南部	26	14	9	19	11	17	12	20	16	8	14	24	190
八戸市	4	4	8	9	8	2	2	5	4	5	5	3	59
その他	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	6	51

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からマスクの常時着用、アルコール消毒液での手指及び回収した配食容器の消毒、利用者との接触をできるだけ短時間にとどめることを徹底しました。

今年度の利用者状況の内訳は、前年度からの継続30名、新規登録者27名(内再開5名)となりました。年間利用者57名の内、年度途中で利用休止した方は26名になっており、その理由の内訳は、入院8名、施設入所7名、自己都合5名、逝去3名、町外転出3名となっています。

<配食サービス事業実施状況>

登録者数	57名 (+3名)
稼働日数	311日 (±0日)
延べ食数	5,167食 (+94食)
1日当たりの平均食数	16.6食 (+0.3食)

※()内は前年度対比

＜配食サービス月別実施状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311
実利用者数	33	30	28	31	33	32	31	30	31	28	30	31	57
延食数	421	397	395	438	438	444	491	455	422	366	408	492	5,167
平均食数/日	16.2	15.3	15.2	16.2	16.8	17.1	18.9	17.5	15.6	15.3	17.0	18.2	16.6

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数～日、実利用者数～名、食数～食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

＜福祉機器貸出状況＞

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	11台(+1)	4台(±0)	7台(-1)	2台(±0)	1台(±0)
新規貸出数	2台(-3)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)
返却数	1台(-5)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)
貸出中の台数	5台(+1)	2台(±0)	6台(-1)	2台(±0)	0台(±0)

※R4.3.31 現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づくりを進め、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努めました。

今年度も続くコロナ禍により、研修会は人数制限をしたうえでリモートにて開催した他、福祉協力員全員に訪問活動時に使用する携帯用消毒スプレーを配布するなど、協力員の感染防止に努めましたが、各地域で開催する自治会の総会の大半は書面によって行われたため、事業説明の機会が減少することとなりました。そこで、住民の方に見守り活動に関心を持ってもらうための一つの取り組みとして、新たに「見守り活動啓発パンフレット」を作成し全戸配布しました。

また、高齢者の安否確認に期待できるふれあい・いきいきサロンは、実施が期待される冬期間に県内での感染が拡大したため、例年の活動には至りませんでした。新たな取り組みとして助成金を利用せずに自由に入出入り可能なサロンを立ち上げた地域があり、立ち上げまでの支援を行いました。

今後は、「見守り活動啓発パンフレット」の活用をしながら、ほのぼの協力員をはじめ住民各自が役割を生かせるよう、田子町地域見守りネットワークと連携した要支援者の実態把握が課題となります。

＜ほのぼの交流事業活動状況＞

協力員グループ数	65 グループ (+10 グループ)
協力員総数	141 名 (-6 名)
対象世帯総数	120 世帯 (-13 世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	0 地区延 0 回 (-4 地区 延-4 回)
処遇困難ケース検討会	2 地区延 4 回 (+2 地区 延+4 回)
ふれあい交流会	0 地区 0 回 (±0 地区 延±0 回)
ふれあいいいききサロン登録数	34 グループ (±0 グループ)
ふれあいいいききサロン	5 地区延 6 回 (+3 地区 延+3 回)
ふれあいいいききサロン参加者数	延 118 名 (+75 名)
福祉協力員・ほのぼの協力員兼任合同研修会	2 回 (-1 回)

※()内は前年度対比

＜令和 3 年度ほのぼの協力員・福祉安心電話協力員合同研修会＞

日時	令和 3 年 12 月 10 日(金) 午後 1 時 30 分
場所	田子町中央公民館 研修室(先着 10 名)
内容	演題「コロナに負けない『いまできる』地域の見守り活動」 講師 八戸学院大学健康医療学部 人間健康学科 教授 吉田守実氏 ※令和 3 年度三戸郡見守りネットワーク研修会併催

＜ふれあい・いきいきサロン開催状況＞

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(名)
七日市ほのぼのサロン	七日市	1	34
にしたてのふれあいサロン	西館野	1	29
野月ふれあいサロン	野月	1	16
遠瀬いきいきサロン	遠瀬	1	9
細野ふれあいサロン	細野	2	30
計	5 地区(+3 地区)	6 回(+3 回)	118 名(+75 名)

※()内は前年度対比

○自由参加型サロン開催地区 明土平ふれあいサロン

(2) 心配ごと相談事業

民生委員 4 名を相談員として委嘱し、毎月第 3 火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に向いて相談を受けることもできる体制を取り、ケーブルテレビや社協だより、ホームページを活用して事業のPRの強化を図りました。

また、定期的相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間 3 回設けている他、日常の相談については随時事務局で対応しました。

<相談事業実績状況>

年間開設日数	15日 (+1日) ※専門相談日3日を含む
相談実日数	77日 (+6日)
延相談利用者数	82名 (+1名)
実相談内容件数	51件 (-8件 ※再来42件)
延面接所要時間	2,605分 (-3,672分)
1件あたりの所要時間	31.8分 (-45.6分)

※()内は前年度対比

<相談内容別処理状況>

相談内容	件数	解決	再来	他機関	その他	支援中/ 未解決
生計に関する事	6	5	13	0	1	0
家族に関する事	2	0	9	1	1	0
人権・法律に関する事	4	4	0	0	0	0
財産に関する事	4	2	2	0	0	1
障害者・児福祉	2	0	3	1	1	0
老人福祉に関する事	25	12	12	2	6	5
その他	8	5	3	1	2	0
合計	51	28	42	5	11	6

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

<専門相談実施状況>

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
令和3年8月4日	みらい法律事務所 須永道夫弁護士	3名
令和4年1月19日	八戸シティ法律事務所 山口龍介弁護士	2名
令和4年2月2日	弁護士法人たいよう総合法律事務所 上野大輔弁護士	2名

<心配ごと相談員並びに運営委員合同会議>

日時	令和4年3月16日(水) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	令和3年度心配ごと相談状況報告について 令和4年度心配ごと相談事業の運営について

(3) 福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得るよう努めました。

福祉安心電話協力員に対しては、事業内容についての資料と訪問活動時に携帯用消毒スプレーを配布しました。なお、例年実施していた利用者及び協力員の交流会は、コロナ禍により昨年度に引き続き中止としています。

<福祉安心電話設置状況>

新規入会件数	3件 (-3件)
退会件数	2件 (+1件)
設置世帯総件数	34件 (+1台)
協力員数	98名 (-1名)

※()内は前年度対比

＜相談・緊急通報状況＞

緊急	2件 (-7件)
相談	2件 (-9件)
連絡(お元気コール含む)	108件 (+6件)
誤報	8件 (+8件)
停電	12件 (-12件)
その他(機器試験等)	7件 (±0件)
計	139件 (-14件)

※()内は前年度対比

(4) 会食交流事業(寄りあいっこ)

65才以上の高齢者を対象に、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底のうえ、主に町内での手作りイベントをメインに開催しました。町の方針や近隣市町村の感染状況を踏まえ、参加人数を18名までに制限しながら、今年度は5回の開催となりました。

また、7月には疫病退散のお守りとして作ったアマビエストラップを、2名の参加者の代表が田子幼稚園を訪問し、子どもたちに贈呈することで交流を図りました。

＜会食交流事業実施状況＞

開催回数	5回 (+1回)
登録者数	111名 (-13名)
登録世帯数	105世帯 (-11世帯)
延参加者数	62名 (-16名)

※()内は前年度対比 ※ボランティア除く

＜会食交流事業実施状況＞

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月	11名	老人福祉センター	田子町の今と昔を思い出す あの頃はこんなったクイズ
6月	10名	老人福祉センター	夏がくる！オリジナルうちわ作り
7月	14名	老人福祉センター	疫病退散！簡単フェルトのアマビエストラップづくり
8月			中止
9月			中止
10月			中止
11月	16名	タプコブ創遊村	田子町創遊村でせんべい焼き体験！
12月	11名	老人福祉センター	簡単なのにかわいい♪手作りクリスマスツリーを作ろう
1月			中止
2月			中止
合計	62名		

(5) 高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障害等のため居宅において生活することに不安のある方に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

<高齢者生活福祉センター利用状況>

実利用世帯	8世帯 (-3世帯)
・単身	8世帯 (-3世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	35世帯 35名 (-12世帯 -12名)

※()内は前年度対比

<高齢者生活福祉センター月別利用状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	6	3	0	0	0	0	0	1	6	6	7	6	8名
延利用日数	150	33	0	0	0	0	0	3	173	186	188	186	919日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6) 低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行ない世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付が全国的に実施おり、本会では緊急小口資金と総合支援資金の貸付がそれぞれ1件ありました。

<年度末新規貸付状況>

件数	金額
2件	700,000円

<年度末貸付総件数>

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	6件	1,113,700円	844,380円
更生資金	1件	700,000円	130,000円
福祉資金	1件	2,050,000円	924,980円
特例緊急小口資金	6件	700,000円	700,000円
特例総合支援資金	2件	1,200,000円	1,200,000円
計	16件	5,763,700円	3,799,360円

※R4.3.31 現在償還中を含む

<生活福祉資金貸付調査委員会>

日時	令和4年3月16日(水) 午後3時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	生活福祉資金貸付及び償還状況について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活

が送れるように援助しました。しかし、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

＜年度末新規貸付状況＞

資金の種類	件数	金額
生活資金	5件	110,000円

＜年度末貸付総件数＞

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
生活資金	13件	390,000円	229,000円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

＜相談支援の状況＞

進捗状況報告会	9回
進捗報告会及び支援調整会議	1回

エ. フードバンク事業

個人や団体等から寄付された食品を自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

＜提供状況＞

提供世帯数	5世帯(±0世帯)
提供回数	6回(+1回)

※()内は前年度対比

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を3名配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。

老人福祉センターの利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修会の支援を行い高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

近年、老人福祉センターを頻回に利用されていた方々の高齢化に伴い、介護保険サービスの利用や体調不良により来館が減る傾向にあり、新たな利用者の呼び込みのため、広報誌に施設紹介記事を掲載することで町民への周知を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策では、入口での検温と手指のアルコール消毒の実施、館内マスク着用の徹底を声かけしたほか、脱衣所や浴室が利用者で密集しないよう、ポスターを掲示し注意を促しました。

＜老人福祉センター利用状況＞

開所日数	242日 (+1日)
延利用者数	10,056名 (+373名)
平均利用者数/日	41.6名 (+1.4名)

※()内は前年度対比

(8) ほっとできる居場所づくり事業

昨年度に引き続き、コロナ禍における高齢者への応援として、学童保育利用児童が塗り絵をした絵はがきを配布しました。今年度は田子町老人クラブ連合会と共催実施とし、老人クラブ会員の他、田子町手をつなぐ育成会会員や75歳以上の福祉安心電話利用者、ほのぼの・よりみちカフェ利用者を対象に、往復はがきによる簡易的なアンケートも併せて実施しました。

また、サンモールにぎわい広場を拠点に、昨年度から取り組んだ「ほのぼの・よりみちカフェ」を継続実施し、町民が自由に出入り可能な居場所を設けることで、コロナ禍での生きがいをづくりに努めました。

○コロナに負けるな！絵はがき配布事業

対象者	町内に住む田子町老人クラブ連合会会員、田子町手をつなぐ育成会会員、75歳以上の福祉安心電話利用者、ほのぼの・よりみちカフェ利用者 合計 165 世帯
実施期間	令和3年9月15日～9月21日
内容	共催 田子町老人クラブ連合会 往復はがき利用 往：にんべこぬり絵（学童利用児童作成） 復：コロナ禍におけるの日常生活及び健康に関するアンケート、川柳募集
回答	62件（有効回答率：37.5%） ※アンケート結果は、社会福祉推進委員会及び社協だよりにて報告

○ほのぼの・よりみちカフェ

開催期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 祝日を除く木曜日実施（感染状況により令和4年1月～3月休止）全29回
場所	サンモールにぎわい広場
特徴及び内容	・開催時間内（午前10時～午後2時）であればどなたでも出入り自由 ・茶菓の無料提供（個包装） ・脳トレ、手芸、軽体操、お楽しみ勉強会（4回）、交流等生きがいをづくりと介護予防
参加者	延参加者411名、1回当たり14.2名（+1.4名）、1名当たり利用時間63.1分（-5.4分）

（9）あつぷるハート（日常生活自立支援事業）の支援・協力

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協である八戸市社会福祉協議会との連携により、利用者との契約に基づいた福祉サービスの利用援助の支援・協力をしました。

相談件数	3件（+1件）
新規契約件数	0件（-1件）
解約件数	0件（-1件）
契約支援件数	3件（±0件）
支援回数	29回（+5回）※
生活支援員	2名（±0名）

※事前訪問、相談訪問含む

4.福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

（1）ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター（機能）を構築していく必要があります。

＜ボランティア登録状況＞

社協事業登録ボランティア	個人 306名 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
寄りあいっこボランティア	個人 2名 (±0名)
その他のボランティア	1団体 29名 (±0団体 -2名)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各学校(小学校3校、中学校1校、高校1校)を福祉協力校として指定し、助成申請のあった福祉協力校に対し、活動費として1校当たり5万円を助成することで、各学校の福祉活動の金銭的支援をおこないました。

また、各学校の担当教員を参集した連絡会議を開催し、各学校との連絡調整と活動の支援を行いました。

＜福祉協力校連絡会議＞

日時	令和3年7月15日(木) 午後3時
場所	中央公民館 研修室
案件	福祉教育メニューについての協議・意見交換

(3) 啓発宣伝事業

ア. 第55回田子町社会福祉大会の開催

例年、町民の福祉意識の高揚と地域福祉の推進を図るために開催している本大会も、コロナ禍により人を集めての開催が困難と判断し中止としました。

なお、受賞者(表彰24名、感謝1名)に対しては大会長のメッセージを添え、賞状を直接お届けしています。

イ. 広報活動

「社協だより」を4回(1回2,200部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

また、ホームページにおいても、社協の事業やイベント等様々な情報を随時発信しました。

ウ. 見守り活動啓発パンフレットの作成

コロナ禍により地域へ出向く機会が減少したことから、住民に見守り活動を知ってもらうことを目的に見守り活動啓発パンフレットを作成しました。監修は、地域福祉を専門とする八戸学院大学の吉田守実教授に依頼し、作成にあたり吉田教授のゼミ生にも参加していただきました。

なお、パンフレットは、社会福祉推進委員会での協議を経て全戸配布しています。

＜作成意見交換会 2回＞

○第1回

日時	令和3年8月6日(金) 午前10時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	今後の計画について

○第2回

日時	令和3年11月30日(火) 午後2時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	素案について

(4) 福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(54名)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など、コロナ禍においても本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また新型コロナウイルス感染症対策として、本会事業に対する理解を深めるための研修会を3回に分けて開催しました。

なお、今年度はコロナ禍での活動依頼ということもあり、福祉協力員に対し、世帯訪問時用の携帯用消毒スプレアの配付も行いました。

<令和3年度福祉協力員委嘱状交付及び福祉協力員研修会>

日時・場所	令和3年7月13日(火) 午後1時30分	田子町中央公民館	ホール
	7月14日(水) 午前10時30分	"	"
	" 午後2時	上郷公民館	和室
研修内容	ほのぼのコミュニティ21 推進事業について 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 赤い羽根共同募金活動について		

(5) 在宅介護者の支援

在宅で高齢者や障害者の介護をされている方々の心身のリフレッシュを目的に日帰り旅行を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症が流行していることから今年度は中止としています。

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

また、青森県共同募金会と連携によるご当地ピンバッジを作成しました。ピンバッジ募金は社協事務所窓口や老人福祉センター、学童保育すくすく館で実施した他、田子町ガーリックセンターにガチャガチャを設置していただき、町外の方へ向けた募金活動も行いました。

<赤い羽根共同募金実績>

赤い羽根共同募金総額	1,451,576 円
戸別募金(1,770 世帯)	1,249,713 円
職域募金(15 件)	27,578 円
学校募金(6 校)	20,602 円
ピンバッジ募金	145,483 円
物品募金	8,200 円

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1) 田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」を、委託事業として「すくすく館田子分館」・「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の学童保育事業に取り組みました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で予断ならない状況が続く中、予防対策として設備・物品等の消毒、職員・児童をはじめとした検温や手洗いうがい、マスク着用の徹底を心掛けたほか、保護者からもご協力いただき、児童の安全のため一体となって予防に努めました。

すくすく館では町内での感染状況により、臨時休館対応を取らざるを得ないこともありました。平時とは違う状況の中であっても、児童ができることとして、バス停の清掃や敷地内の雪かき、周辺のごみや枝拾いを通すことで、ふるさとへの思いの醸成や地域貢献の経験を積めるよう努めました。

また、今年度も清水頭小学校の利用児童については平日の小学校下校時に送迎を行い、学童保育利用における地域格差の解消に努めました。

その他、保護者に向けたアンケートを昨年度に引き続き実施し、用紙以外にインターネットも活用することで回収率を上げ、今後の運営改善に役立てました。

＜学童保育実施状況＞

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

＜開設日数・登録児童数＞

施設	年間開設日数					登録児童数		
	平日	土曜	振替	長期	計	区分	年度当初	年度末
本館	193	36	8	47	284	通常	45	34
						長期	8	10
						一時	0	2
						計	53	46
田子分館	197	26	4	40	267	通常	18	19
						長期	1	2
						一時	1	0
						計	20	21
上郷分館	199	39	4	46	288	通常	12	12
						長期	0	0
						一時	0	0
						計	12	12
計	589	101	16	133	839	通常	75	65
						長期	9	12
						一時	1	2
						計	85	79

＜月別開設日数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	25	22	26	25	23	24	24	23	24	23	22	23	284
田子分館	25	22	26	25	23	24	25	22	21	19	18	17	267
上郷分館	25	22	26	25	22	23	26	24	24	23	22	26	288
計	75	66	78	75	68	71	75	69	69	65	62	66	839

<延利用児童数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	629	517	654	586	487	565	572	479	489	449	408	407	6,242
田子分館	374	317	368	347	323	327	357	338	370	317	301	337	4,076
上郷分館	254	215	259	235	210	241	253	242	202	205	201	215	2,732
計	1,257	1,049	1,281	1,168	1,020	1,133	1,182	1,059	1,061	971	910	959	13,050

<一日当たりの利用児童数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	25.2	23.5	25.2	23.4	21.2	23.5	23.8	20.8	20.4	19.5	18.5	17.7	21.8
田子分館	15.0	14.4	14.2	13.9	14.0	13.6	14.3	15.4	17.6	16.7	16.7	19.8	15.5
上郷分館	10.2	9.8	10.0	9.4	9.5	10.5	9.7	10.1	8.4	8.9	9.1	8.3	9.5
計	50.4	47.7	49.4	46.7	44.7	47.6	47.8	46.3	46.4	45.1	44.8	45.8	46.9

<延支援員配置数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	90	89	97	92	122	104	106	92	88	98	67	109	1,154
田子分館	44	54	71	73	60	66	74	64	57	61	52	42	718
上郷分館	53	46	56	55	53	46	55	49	49	53	47	50	612
計	187	189	224	220	235	216	235	205	194	212	166	201	2,484

<一日当たりの支援員配置状況>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	3.6	4.0	3.7	3.7	5.3	4.3	4.4	4.0	3.7	4.3	3.0	4.7	4.1
田子分館	1.8	2.5	2.7	2.9	2.6	2.8	3.0	2.9	2.7	3.2	2.9	2.5	2.7
上郷分館	2.1	2.1	2.2	2.2	2.4	2.0	2.1	2.0	2.0	2.3	2.1	1.9	2.1
計	7.5	8.6	8.6	8.8	10.3	9.1	9.5	8.9	8.4	9.8	8.0	9.1	8.9

＜学童保育利用者アンケート調査＞

対象者	令和3年度登録67世帯(脱退・利用なしの世帯を除く)
実施期間	令和4年2月21日～3月7日
内容	コロナ禍における満足度調査
有効回答	43件(インターネット23件、用紙20件) 有効回答率:64%

(2)子育てサロンの実施

学童保育施設「すくすく館」を開放し、子育て中の保護者や乳幼児、子育てに関わっている方などを対象に、「気軽に出かけてほっとできる場所」を提供し、子育て支援の一環として、子育てサロンを実施しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年通りの開催が難しく、平日1日1組限定の完全予約制で町内の方のみ受け入れる方法をとって現場開放を試みました。感染が比較的落ち着いた時には受け入れ条件を緩和したり、感染者が増えた時には現場開放せず電話相談にしたりと、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した上で状況に応じて開催しました。実施が困難な時期であっても、定期的に「子育て通信」を作成し、子育てに役立つ情報を登録者に送付しました。

また、学童保育事業と同様に今年度も子育てサロンでも利用者アンケートをインターネットで実施し、今後の運営改善に役立てました。

＜子育てサロン実施状況＞

開催日時	毎週月～金曜日(不定期) 午前10時～正午
開催場所	すくすく館
実施日数	144日
登録世帯数	6世帯(親6名 子ども8名)
延利用世帯数	4世帯 4名
1日平均利用世帯数	0.03世帯 0.06名

＜子育てサロン実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用世帯	0	1	0	0	-	0	0	0	2	-	0	0	3世帯
実施日数	14	7	22	14	-	15	12	14	13	-	17	16	144日
利用世帯数	0	1	0	0	-	0	0	0	3	-	0	0	3世帯
1日当たりの利用世帯数	0	0.1	0	0	-	0	0	0	0.2	-	0	0	0.3世帯
延利用者数	0	2	0	0	-	0	0	0	5	-	0	0	7名
うち子供の数	0	1	0	0	-	0	0	0	3	-	0	0	4名
1日当たりの利用者数	0	0.3	0	0	-	0	0	0	0.4	-	0	0	0.7名

＜子育てサロン利用者アンケート調査＞

対象者	令和3年度登録6世帯
実施期間	令和4年3月11日～3月25日
内容	コロナ禍における満足度調査
有効回答	2件(有効回答率:33%)

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会